



市民と野党の共同の力で 政治を変えよう

	自由民主党	日本維新の会	立憲民主党	日本共産党
消費税減税について		○	○	○
インボイス制度について		×	×	×
中小業者支援策拡充	○	○	○	○
国保傷病手当個人事業主への拡充		○	○	○

コロナ禍が長引き、どの業種もきびしさを増しています。しかし、売上50%以上減、飲食店のみならず、偏った支援策が分断を広げ、地域のコミュニティを壊しています。一方、病床削減、不十分な検査体制、民間

丸投げのワクチン接種など、新自由主義に偏った政治が国民のいのちの危機を招いています。感染しても入院できず、亡くなる方が増え、まさに政治の責任としか言いようがありません。

「こんな政治を変えたい」と願う市民と野党が力を合わせれば、政治の転換は可能です。

兵商連では、衆議院予定候補者へ公開質問状を送り、コロナ禍での中小業者施策を聞きましました。各党、候補者の回答の一部を紹介いたします。

一時支援金、不備解消へ前進

一時支援金の「不備ループ」に対し、民商・全商連は、中小企業庁交渉を何度も行い、「民間まかせにせず、中小企業庁が責任をもって審査・支給すること」を求めてきました。

この間、「月次支援金は出たが、一時支援金が不備のまま」という事例が広がり、中小企業庁は、「月次支援金が支給された方は、時間がかかるが、一時支援金との紐づけをし、随時支給できるようにする」と、日本共産党の清水ただし事務所に連絡がありました。



私の商売ものがたり

NO.224

千原公子さん
(古着・雑貨)
芦屋民商

三方よしの商いを

不動産屋に立ち寄ったことがきっかけで、自分の好きな事がしたいと思い、JR芦屋駅前のテナントで、商売を始めたのが35年前。当時好きだった江戸ちりめん着物の古着屋を始めましたが、お客さんが来店することもなく悩んでいました。そんな時、阪急百貨店が「沿線のお店を集めて催す」という話をもらい、ポスターが各駅前貼られたことがいい宣伝に。若い

時代舎
〒659-0093
芦屋市船戸3-25-204
TEL 0797-23-5824
営業時間 12時～18時
定休日 日・祝

経営情報

コロナ感染症の影響が続く中、昨年借りた融資の返済が始まり資金繰りが苦しい、外出・移動の自粛の影響が続き商売が続けられないとの声が上がっています。日本政策金融公庫の無利子融資・感染症特別貸付は、借換、新たな追加融資も可能です。融資の相談は民商へ。

平和と憲法を守ろう

#いのちまもる緊急行動

全国一斉行動として呼びかけられた「医療・介護・保健所の削減やめて！いのちを守る緊急行動」に、兵庫県社会保障推進協議会が、兵庫共同行動を呼びかけました。賛同する団体、個人が共同し、5日にJR西宮駅前、神戸市元町大丸前で街頭宣伝を行いました。行動には約70人が集



判決求める署名」「生活保護費引下げ裁判公正審理求める署名」などが並べられました。スタンディングしてい

るメンバーの呼びかけに、足を止めて署名する姿がありました。参加者は順番にマイクを握り訴えました。日本共産党のこむら潤衆院近畿比例予定候補もかけつけ、いのちよき経済を優先する政府の政策を指摘し、「これまでの政治を変えないと国民のいのちを守れない」と衆議院選挙での政権交代を訴えました。

全国36都道府県119カ所で「緊急行動」は取り組まれ、ツイッターなどでも配信されています。



業者青年の要求実現へ 兵商連青年部協議会総会

兵商連は、8月29日に第46回定期総会をウェブも併用して開催し、32人が参加。兵商連・加口良秋副会長が「青年部の活動が全国の業者青年と、民商活動を励ましていく。共に頑張ろう」と連帯あいさつ。山名孝明会長は「コロナ禍で計画した活動が行えなかったが、業者青年アソシエイトや民商訪問などに取り組んできた。これからは経営力アップ交流会など活動を再開させたい」と報告。総会は、運動方針案と決算・予算案を採択し、運動の先頭に立つ役員を選出しました。

持続化・家賃給付金を復活させて、中小企業や小規模事業者を継続的に支援する。コロナ禍の影響を決算ペーパーで評価して、事後的に損失補償を行う支援制度を創設して、月次支援金など、既存の支援策と選択できる制度を導入する。借入返済の延期を求める。

編集後記

感染者数が減少していますが、第6波の予想もあり心配です。商売はますますきびしくなっています。

もう政治を変えるしか道はありません。次の総選挙で市民と野党の連合政権を誕生させましょう。